

守り・伝える・文化財 ⑨

市重要文化財 銅鐘 一口 天正年間  
指定 昭和37年 本町 妙正寺



▲ 400年以上前に製造された朝鮮式の銅鐘

妙正寺は、三原浅野家の菩提寺として知られ、野畑山南面中腹にあります。妙正寺の鐘楼にある鐘は高さ110cm、口径64cm。かつては近くの鐘撞堂につるされ、三原の「時の鐘」として、人々の暮らしの中で時刻を告げる大切な鐘でした。

懸垂用の竜頭と脇にある小筒には亀が彫られ、三原鑄物師の特徴を示すチチと呼ばれる丸くて小さい突起物が一番下部に巡らされている朝鮮式の鐘です。三原市を中心に活動した三原鑄物師の作としては、市内最古のものです。

三原鑄物師は中世の広島県地域を代表する鑄物製作者です。鉄や銅などの金属を溶かして鑄型に流し込み、鍋・釜などの生活用具から、寺院の梵鐘に至るまでの製品を鑄造していました。竹原屋吉井家は小早川

家とともに三原に  
来住し、三原鑄物  
師の中心となりま  
した。

銘によると小早  
川隆景の家臣井上  
春忠が、初代吉井  
信正へ天正4年  
(1576年)に鑄  
造させたもので  
す。

妙正寺副住職の  
柴田章延さん(三  
原市文化財保護審  
議会委員)は「この銅鐘は、響きが  
良くなるよう小筒を空洞にして、鐘  
の音が一段と聞き取れるように造ら  
れています」と言います。

この寺からの眺めは絶景で、古く  
は画家岡眠山が登覧画図を描いてい  
ます。他にも多くの市重要文化財が  
妙正寺に所蔵されています。

大みそかにつかれる除夜の鐘によ  
り煩惱を除き、新しく迎える年が平  
和で、希望に満ちた年であるよう願  
うものです。



妙正寺副住職  
柴田章延さん  
(本町二丁目)  
問い合わせ先  
妙正寺(☎0848@5561)

だるま制作体験教室

干支だるま絵付け教室  
とき 5日水)10時~12時  
ところ うきしろロビー(城  
町一丁目)

対象 市内に在住、勤務、在  
学している人

定員 20人(申し込み先着順)

参加料 800円

申し込み先 三原観光協会  
(☎0848@1481 FAX  
0848@5911)

納期限までに納税しましょう!

市の財政は、皆さんの税金  
で成り立っています。福祉や  
教育、消防、ごみ処理といっ  
たさまざまな住民サービスに  
税金は使われています。今後  
も、納期限内の納税にご協力  
ください。銀行口座から自動  
的に引き落とす「口座振替制  
度」もあります。

問い合わせ先 収納課 ☎  
848@6035

税の納期

- ◎固定資産税・都市計画税第3期
- ◎国民健康保険税第6期
- ◎介護保険料普通徴収(第6期)
- 納期限 12月25日(火)
- ※税金・保険料は納期限ま  
でに納めましょう。

あ・と・が・き

今日から12月。まちのあち  
こちで色とりどりのクリ  
スマスイルミネーションが  
灯り始め、クリスマスソング  
も聞こえてきます。この季節  
になると、決まって思い出す  
のは、サンタクロースの存在を  
信じていた(信じこまされて  
いた)頃、押し入れの中にプ  
レゼントらしきものを発見し  
たクリスマス前夜の衝撃!  
あれから〇年。イルミネーシ  
ョンに心惹かれ、何となく心  
躍らせながらクリスマスを待  
つ気持ちは、あの頃ときほど  
変わっていないような気がし  
ます▼市役所の庁舎横に、大  
きなイチヨウの木がありま  
す。黄色に色づき、ちらちらと  
風が葉を揺らしています。あ  
たたかな日差しを浴びて、ま  
るで鮮やかな黄金色のクリ  
スマツリーのよう  
です。(ま



● 三原市の人口 ●  
(10月31日現在)

世帯数	43,756世帯 (+322)
人口	104,843人 (-559)
男	50,350人 (-219)
女	54,493人 (-340)

( )内は前年同月との比較

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。